

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	ぱすぽ					公表日	令和7年3月12日	
	チェック項目	はい	いいえ	どちらともいえない	無回答	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4	1	0	1		・テーブルが固定になっていて使いにくい。 ・部屋の広さには問題ないが、利用人数が多い日はスタッフ人数も増え、その際は狭く感じる。	
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	1	3	0	2		・基準人員を配置しているが、より良い支援に繋げるにはもう1~2人補充したい。	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	3	2	0	1	・児童のみで入ってはいけない部屋（キッチン等）に張り紙があったり、ホワイトボードにスケジュール提示を行っている。	・外の階段は必要に応じてスロープの使用等あって良いかと思う。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4	1	1	0		・玩具の片付け等、もう少し整理したい。 (子どもに分かりやすいように)	
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	1	0	0	・相談室や学習室等、何かあった際はゆっくり過ごしたり、スタッフと一対一で過ごせるようにしている。		
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	3	1	0	2	・朝礼、昼礼、終礼を活用している。		
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3	0	1	2		・どちらとも言えない。スタッフが変わり、令和6年7月に運営再開後初めての評価であるため。	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	0	1	・朝礼、昼礼、終礼を活用している。	・ミーティングでの意見交換や情報共有をしていると思う。	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	4	0	2		・外部評価は行っていない。	
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	0	0	0	・事業所内研修、外部講師による社内研修、外部研修に参加している。		
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	1	0	0	・令和7年2月1日に作成し、2月11日より保護者周知、2月21日にホームページにて公表している。	・プログラムが先に作られ、それに応じた活動になっている時がある。	
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	3	0	0	2	・保護者様一人ひとりとの面談等を通し、アセスメントを実施し、計画を作成している。		
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4	0	0	2	・計画作成時期だけでなく、日頃から児童一人ひとりへの支援や対応について共通理解を持てるようにしている。		
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4	0	0	2	・日々の個別支援記録に計画を記載し、いつでも確認し、支援に臨めるようにしている。		
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	2	2	0	2		・インフォーマルアセスメントを準備出来ていない。	
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	0	0	1	・ガイドラインを読み込み、一人ひとりに応じた計画を作成している。 ガイドラインは誰でも（職員）目がつく所に保管をしている。	・一部の児童のみに偏っている。	
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	2	2	0	2	・基本的には正社員で行っている。		
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4	0	0	2	・基本的には正社員で行っている。		
	19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	3	1	0	2	・情緒面や健康面、社会性やコミュニケーション面等、一人ひとりの課題に応じ、個別・集団活動に対する計画を作成している。		
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	3	2	0	1	・パート職員が出勤する時間に実施している。		
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	0	0	1	・出来るだけ毎日行うようにしている。		

	チェック項目	はい	いいえ	どちらともいえない	無回答	工夫している点	課題や改善すべき点
適切な支援の提供	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	0	0	0	・個別支援記録に記入している。	
	23 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4	0	0	2	・半年間以内に必ず行っている。	
	24 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	2	2	0	2	・ガイドラインを読み込み、一人ひとりに応じた計画を作成している。 ガイドラインは誰でも（職員）目がつく所に保管をしている。	
	25 こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	4	1	0	1	・児童一人ひとりの特性を考え、自己決定が出来るよう工夫している。	
関係機関や保護者との連携	26 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4	0	0	2	・児発管だけでなく、児童指導員（正社員）にも参加してもらえるようにしている。	
	27 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	2	2	0	2	・併用利用をしている児童は併用先の放課後等デイサービスとの連携を取っている。	
	28 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	3	1	0	2	・学校お迎え時に行っている。	
	29 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	2	2	0	2		・令和6年7月に再開し、就学前の利用先との情報共有の場が無かった。
	30 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	2	1	0	3		・上記内容と同様、卒業した児童も居ない為、情報共有の場は無かった。
	31 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	0	4	0	2		・そのような研修があれば検討したい。
	32 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	0	4	0	2	・3月22日（土）席田小吹奏楽部の演奏会に招待され、参加（見学）予定。	
	33 （自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	1	3	0	2		・令和7年度からは自立支援協議会が運営する研修等に参加したい。
	34 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	5	0	0	1	・送迎時や連絡帳、ライン、電話にて行っている。	
	35 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	3	0	2		・今後検討したい。
保護者への説明等	36 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	3	1	0	2	・新規契約時やばすば通信にて行っている。	
	37 放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	3	1	0	2	・事前に保護者様へ意向を伺っている。	
	38 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	4	0	0	2	・面談にて説明を行っている。	
	39 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	0	0	1	・家族からの相談に対しての職員の支援について共有し、サポートを行っていると思う。 ・面談や電話、送迎時等に伺い、対応している。	
	40 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	0	4	0	2		・今後検討したい。
	41 こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	3	1	0	2	・苦情は無いが、ご意見を頂いた際には迅速に対応している。	
	42 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6	0	0	0	・行事カレンダーの発行、日々の活動写真等を発信出来ていると思う。 ・月1回のばすば通信や利用予定表、Instagramにて活用している。	
	43 個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4	0	0	2	・個人情報取り扱いへの留意は当然のことである。	
44 障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4	0	0	2	・視覚的な情報発信やおたよりの書体にも気を付けている。（ユニバーサルデザインフォント）		

保護者への説明等	チェック項目	はい	いいえ	どちらともいえない	無回答	工夫している点	課題や改善すべき点
	45 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	4	0	2		・今後検討したい。
非常時等の対応	46 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	3	1	0	2	・令和6年10月の車両事故にて事故防止マニュアルの見直しを行っている。	
	47 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4	0	0	2		
	48 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5	0	0	1	・アセスメント時に行っている。またフェイスシートにも記入をお願いしている。	
	49 食物アレルギーのあることについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	2	2	0	2	・医師の指示は受けていないが、保護者様より注意事項を伺っている。	
	50 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4	0	0	2		
	51 こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	3	1	0	2		・今後周知していく。
	52 ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	1	0	0	・ヒヤリハットの情報を共有されている。 ・令和7年1月31日にヒヤリハットに対する研修（外部講師による）を行っている。	
	53 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	0	0	1		・今後は外部研修への参加も行いたい。
	54 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	2	2	0	2	・身体拘束の必要は無い。	

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ぱすぽ			
○保護者評価実施期間	令和 7年 2月 11日 (火)		～	令和 7年 2月 28日 (金)
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	19件	(回答者数)	13件
○従業者評価実施期間	令和 7年 2月 12日 (水)		～	令和 7年 2月 28日 (金)
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	管理者兼児童発達支援管理責任者 1名 児童指導員 (正社員) 2名 児童指導員 (パート) 1名 指導員 2名 (内1名 強度行動障害基礎研修受講者) 計 6名	(回答者数)	6名
○事業者向け自己評価表作成日	令和 7年 3月 12日			

○ 分析結果

	事業所の強み (※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・様々な屋内外での活動を企画し、子ども達全員に色々な活動 (室内での粗大運動や制作活動の微細運動、室外での買い物体験や外食体験、体育館遊び、社会科見学、中学生を対象とした就労体験等) を提供し、自立に向けての活動を中心にしている。	・活動内容が固定にならないよう、常に室内外での活動を考え、子ども達に毎回「楽しかった」「もう一回したい」と思ってもらえるようにしている。 ・令和6年7月より事業所運営が再開し、スタッフも変わっている為、今までに取り組んでいた活動とは違った活動も考え、企画している。	・これまでに事業所の活動として経験した事の無い内容を考えると共に、社会資源を探っていききたい。また、様々な活動を通し、子ども達の可能性を広げていききたい。
2	・保護者様との情報交換、それにまつわる職員間での情報共有が出来ており、統一した支援が出来ている。また、インスタグラムを活用し、月1回のおたよりだけでなく、日々子ども達の様子も写真や動画で発信する事が出来、安心感に繋ぐ事が出来ている。 ※インスタグラムはご契約されている保護者様のみが確認出来るようになっている。	・職員が疑問に感じた事は管理者児発管だけでなく、その他職員も保護者様とお話をさせて頂き (ご自宅への送迎時)、保護者様との関係構築に努めている。 インスタグラムでの投稿についても「どんな活動だったのか」だけでなく「どんな訓練に繋がっているのか」も文章化する事で、保護者様の安心に繋がるよう意識している。	・今後も保護者様との情報交換や共有を十分に図り、事業所内で必ず共有していく。また、保護者様のお悩み等に対し、全職員で検討して対応を行う等、その都度サポートをしていきたい。
3	・事業所内での研修について、正社員だけでなく、パートも含めた研修を実施する事が出来ている。支援に対する意欲も非常に高い。	・正社員、パート職員にて放課後等デイサービス経験の年数にバラつきはあるものの、全体で基礎研修から実施をし、改めて学ぶ事が出来るような環境にしている。	・新入職員がいた際は必ず基礎研修 (障がい特性やその対応について、放課後等デイサービスの役割等) を実施するようにする。また、療育だけでなく、事業所のマニュアルに対する研修やパート職員も朝から出勤をし、時間をしっかり使って研修を行い、より良い療育や運営への知識を深めていきたい。

	事業所の弱み (※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・保護者やきょうだい児に対する支援やペアレントトレーニング、交流会等の実施が無い状況である。	・令和6年7月に運営を再開したばかりで、職員に変化があり、保護者様や利用児童との関係構築を優先していた為 (体制を整えていた為)、企画が出来ない状況だった。	・長期休暇等を活用し、運動やクッキング等を企画し、保護者様やきょうだい様にも参加して頂けるような活動を考えていきたい。また参加して頂く事で、事業所を「見える化」していきたい。
2	・事業所運営の中で共通理解 (マニュアル等) や支援時の連携に対し、取れていると感じている職員、取れていないと感じている職員に分かれてしまっている。	・正社員、パート職員の公休ですれ違いがあり、上手く伝達が出来ていない事が考えられる。	・昼礼 (パート職員出勤時) や終礼を必ず行うようにする。また、公休だった職員に対し、確実に伝達事項を伝え、共通した支援や運営に繋がっていく必要がある。 ・マニュアル等、職員がいつでも目を通せるような書類関係の配置場所やその内容に対して適宜確認を行う必要がある。
3	・地域との連携や交流が殆ど無い。地域に開かれた事業運営や放課後児童クラブの児童等の交流が無い。	・地域への繋がりが不明で、これまでどのように関わっていたのかが分からない。(前任者からの引継ぎが無かったため)	・今後近隣の施設や放課後児童クラブ等への働きかけや、地域の行事等に参加出来るような社会資源を探っていききたい。